

“働く”金曜掲載

(医師人生地方で集大成 元産婦人科部長 人材不足の病院へ)

記事内にて、都会志向強く難しい採用 と題してコメント掲載

都会志向強く難しい採用

人口10万人あたりの医師数は全国平均237人(12年)。東京都は313人、大阪府は269人いるが、200人未満の県も多い。人材スカウト会社サーチファームジャパンの武元康明社長は「04年の研修医制度改革で、大学が系列病院への医師派遣を減らして以降、医師不足に悩む病院が増えた」と指摘する。県庁所在地など都市部と他地域との「県内格差」もある。医師も都会志向は強く、派遣が細ったり大学の影響が薄かったりすると採用は簡単ではない。高齢化で医療ニーズが増せば不足感は一層強まる。

地域の中核病院は街づくりの手腕を持つ事務長も必要で、上場企業の幹部級も紹介しているという。医療機関だけでなく、企業が人材を探す相談も増えているが、求める水準の人は限られるのが実情だ。武元氏は「のびしろや自由度が地方の魅力。柔軟性や創造性があり、挑戦の楽しさと大変さの両面を捉えられる方が向いている」と話す。(吉川啓一郎)



デジタル版に武元さんインタビュー



▼本件に関する問合せ

サーチファーム・ジャパン株式会社

広報室 宗像 久野 (ムナカタ ヒサノ)

TEL : 03-3221-3481 FAX : 03-3221-3482

Mail: pr@search-firm.co.jp